

予算以外の議案等

【条例】

専任副管理者の給与の特例に関する条例の制定

愛知県の給与の削減状況等にあわせ、専任副管理者の給与を臨時的に削減する。2021年12月1日から2025年4月27日まで、給料月額の10%、期末手当の10%を削減。2021年12月の期末手当の額は、さらに、6月19日からの給料月額10%の合計額を減じる。

【契約】

工事請負変更契約の締結

金城ふ頭護岸築造工事（その4）の契約変更。主要な工事材料である石材価格の著しい上昇等により契約金額の変更。1,952,500,000円→2,438,988,200円

【その他議案】

指定管理者の指定の変更

施設	指定管理者	備考
名古屋港水族館	(公財) 名古屋みなと振興財団	指定の期間を1年延期し、2014年4月1日～2023年3月31日に
新舞子マリパーク、南浜緑地及び北浜緑地	(株) 日誠	指定の期間を1年延期し、2018年4月1日～2023年3月31日に
中川口緑地始め8緑地	(公財) 名古屋港緑地保全協会	
富浜緑地(名古屋港ゴルフ倶楽部(富浜コース)等を除く。)始め8緑地	(公財) 名古屋港緑地保全協会	
名古屋港ゴルフ倶楽部(富浜コース)等	(株) ウッドフレンズ	
名古屋港ポートビル及びガーデンふ頭臨港緑園	(公財) 名古屋みなと振興財団	

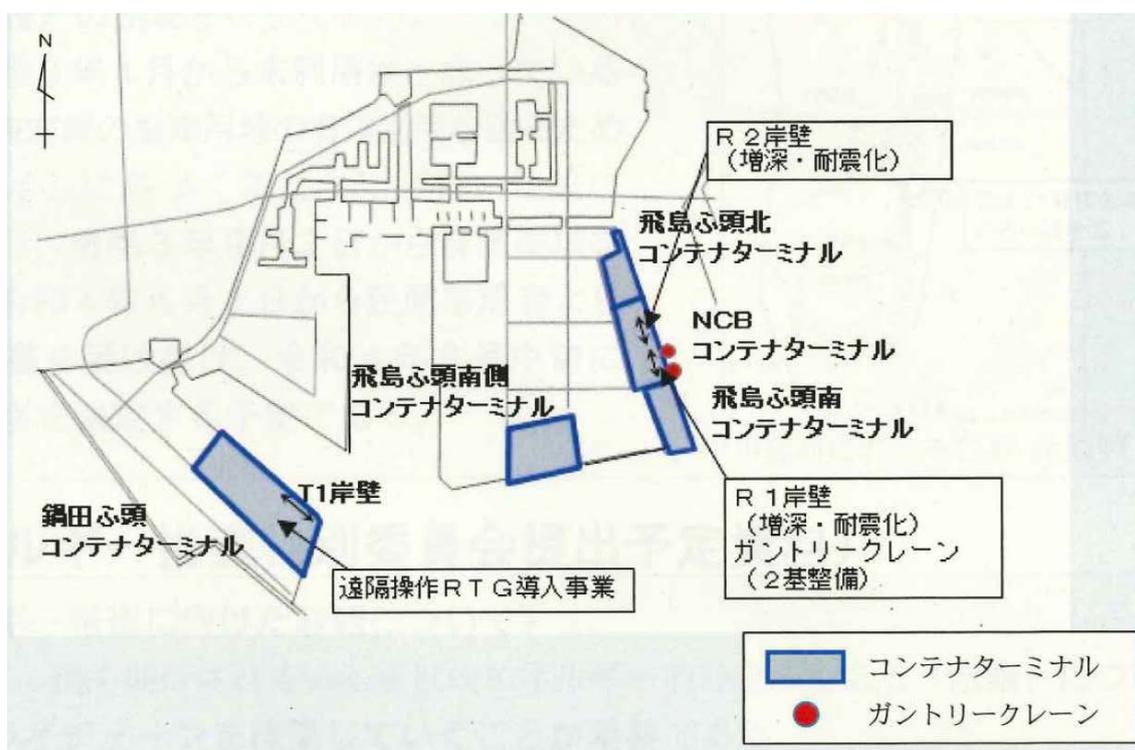
※名古屋港ポートビルは、南極観測船ふじ、ポートハウス及び駐車場を含む。

国際競争力の強化に向けた取組

【コンテナ取扱機能の強化】

・飛島ふ頭NBCコンテナターミナルにおいて、国は、R1・R2岸壁の増深及び耐震化に取り組んでおり、R1岸壁の整備完了後、名古屋四日市国際港湾（株）が、大型ガントリークレーン（22列対応）2基を設置し、2022年10月頃を目途に、R1岸壁の供用を開始する予定である。引き続き、R2岸壁の早期完成に向けて取り組んでいく。

田ふ頭コンテナターミナルにおいて、名古屋ユナイテッドコンテナターミナル(株)により、遠隔操作RTG導入事業（40基、内新規32基、改造8基）が進められており、現在19基の新規RTGが搬入されている。



新たな土砂処分場の確保

・国は、令和3年5月の中部国際空港沖公有水面埋立の承認を経て、現在、護岸整備に向けた取組を進めている。

・基金の拠出額は、愛知県側 36.2 億円、三重県側 10.1 億円で漁業関係者との協議が整い、総額が 46.3 億円となったことから、2021 年度補正予算では、当初予算 45 億円との差額 1.3 億円を計上。

・愛知県側は、基金の拠出を終えており、三重県側は、三重県漁連と覚書を締結したうえで（公財）三重県水産振興事業団と協定書を締結し、基金を拠出していく。

愛知・三重両県の基金の活用内容（内訳）

事業名	主な事業内容	構成比（％）	
		愛知県	三重県
漁業経営安定対策事業	・ 共同利用施設の整備 ・ 漁業経営の合理化への支援	72.9	85.0
水産資源増大対策事業	・ 種苗放流 ・ 資源増大に資する試験・研究	22.2	12.0
漁場環境対策事業、その他	・ 漁場障害物の除去 ・ 県産水産物の消費拡大への支援等	4.9	3.0
合計		100	100

中川運河の再生

・中川運河では名古屋市と本組合が共同で策定した「中川運河再生計画」に基づき、再生に取り組んでいる。

・魅力ある水辺空間の形成に向けて、沿岸用地の新たな土地利用の展開を図るため、2015年3月に「中川運河再生計画に基づく沿岸用地の土地貸付けに関するガイドライン」を策定し、2015年度から公募によるにぎわい施設（商業施設）の誘導を行っている。

・今回、2021年4月から未利用地となっている昭和橋下流左岸の沿岸用地の有効活用を図るため、ガイドラインに基づく新たなにぎわい施設の誘導に向け、2021年9月3日から募集要項を公表し、2022年4月1日から民間事業者より事業提案書を受け付け、2022年6月中旬に事業予定者を決定する予定。



